

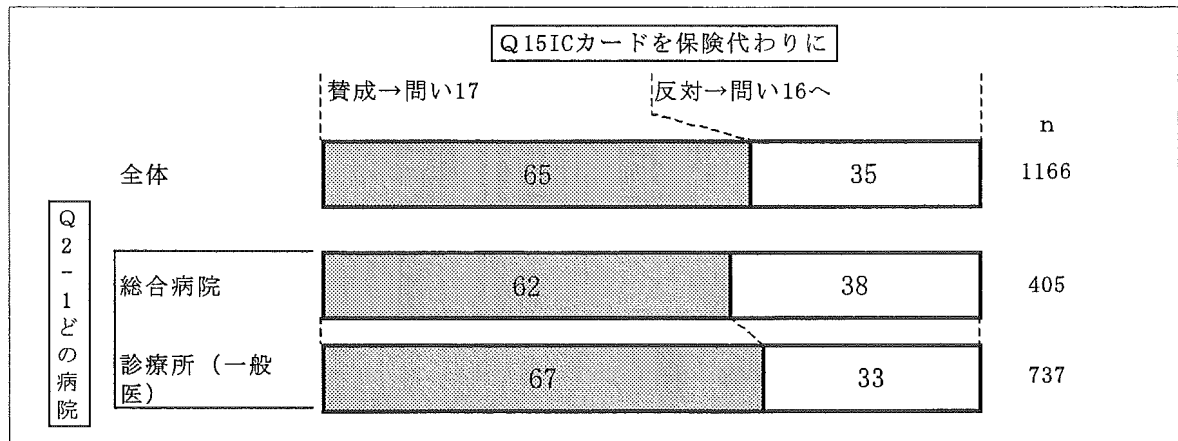
問 2-1 「病院タイプ」と問 15 「IC カードの保険代わり」のクロス集計分析

質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「IC カードに保険証の機能を組み込むことについてどう思いますか」

		合計	Q15ICカードを保険代わりに		
			賛成→問 い17	反対→問 い16へ	不明
全体		1166 100.0	750 64.7	410 35.3	6
Q 2   1 の 病 院	総合病院	405 100.0	248 61.7	154 38.3	3
	診療所（一般医）	737 100.0	491 66.8	244 33.2	2



<考察>

全体の約 65%が賛成すると感じていることがわかる。これは総合病院と診療所の間に大きな違いは見られず、65%前後の患者が賛成している。

この結果からやはりコンパクトに持ち運べるなどの利便性を感じている患者が多くいることがうかがえるが、一方、自己責任での管理による紛失などにおける情報漏洩などに不安を感じている患者も少なくないことがわかる。

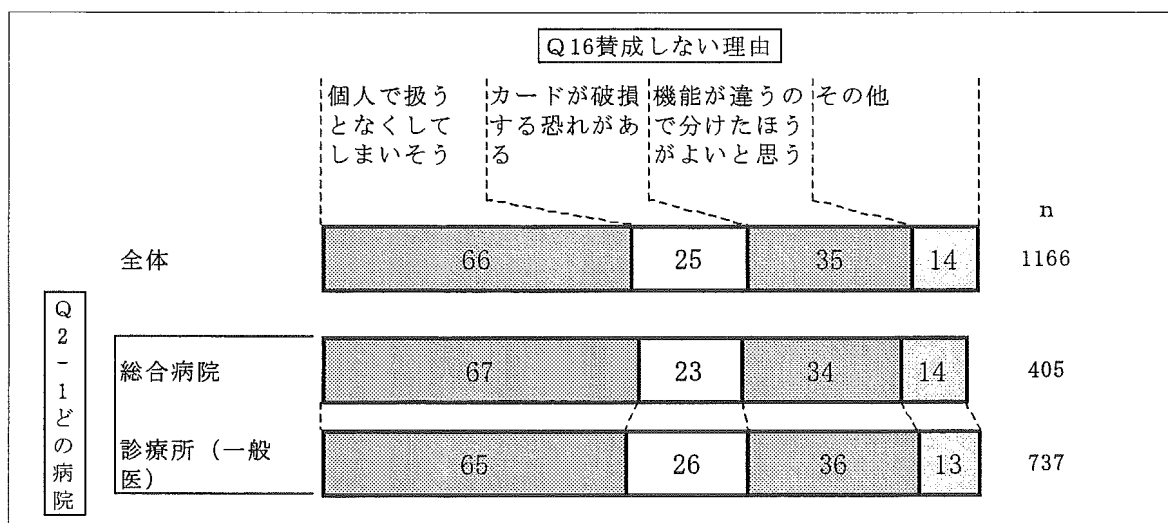
問 2-1 「病院タイプ」と問 16 「賛成しない理由」 のクロス集計分析

質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「賛成しない理由は何ですか」

	合計	Q16賛成しない理由					不明	非該当
		個人で扱うとなくしてしまいたいそう	カードが破損する恐れがある	機能が違うので分けたほうがよいと	その他			
全体	1166 100.0	269 65.9	100 24.5	143 35.0	56 13.7	0	758	
Q 2   どの 1 病院	総合病院 405 100.0	103 67.3	35 22.9	52 34.0	21 13.7	0	252	
	診療所（一般医） 737 100.0	157 64.6	64 26.3	88 36.2	32 13.2	0	494	



<考察>

賛成しないと答えた患者全体の約 65%が個人で扱うとなくしてしまいたいそうと感じていることがわかる。これは総合病院と診療所には大きな違いは見られない。

この結果から、やはり自己管理への不安を多くの患者が抱いていることがわかる。

また、機能が違うので分けたほうがよいと思う患者も約 35%と少なくない結果が得られたが、1つのものにまとめてしまう利便性よりも自己管理への不安が大きいと感じている患者の心理がうかがえる。

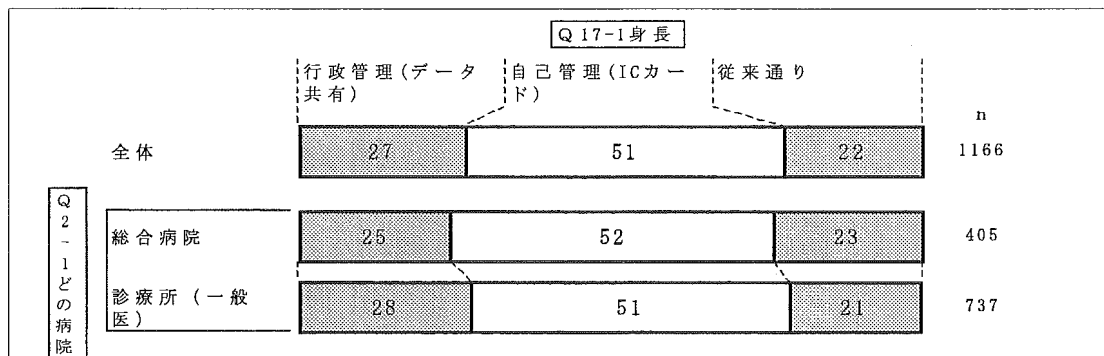
問 2-1 「病院タイプ」と問 17-1 「身長の情報管理方法」のクロス集計分析

質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように身長情報を管理したいですか」

	合計	Q 17-1 身長				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	272 26.9	518 51.3	220 21.8	156	
Q 2   1 どの 病院	総合病院	405 100.0	87 25.1	180 52.0	79 22.8	59
	診療所 (一般医)	737 100.0	179 27.8	327 50.9	137 21.3	94



<考察>

全体の約 50%が自己管理を希望していることが分かる。これは総合病院と診療所の間に大きな違いは見られず、ほぼ同じ結果になった。

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。

個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も 30%弱と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。

行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

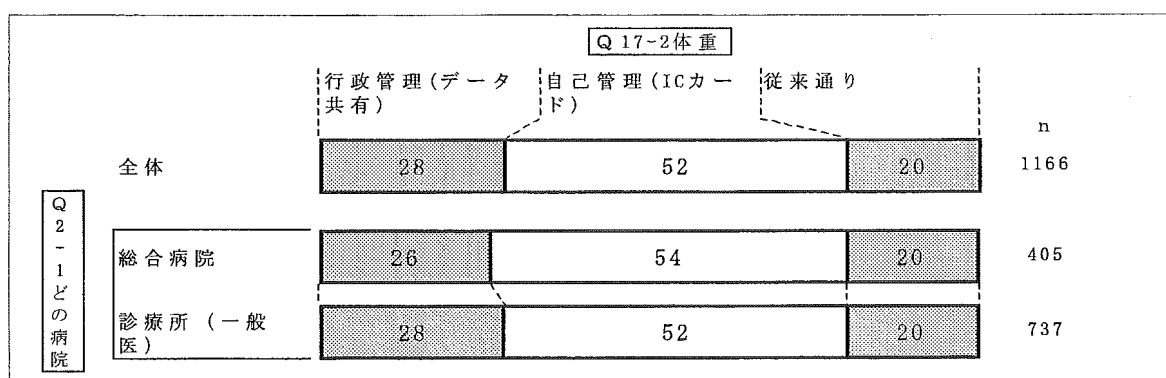
問 2-1 「病院タイプ」と問 17-2 「体重の情報管理方法」のクロス集計分析

質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように体重の情報を管理したいですか」

	合計	Q 17-2 体重				
		行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	278 27.6	529 52.5	200 19.9	159	
Q 2 の   病 1 院	総合病院	405 100.0	91 26.3	186 53.8	69 19.9	59
	診療所 (一般医)	737 100.0	181 28.3	332 51.9	127 19.8	97



<考察>

全体の約 50%が自己管理を希望していることが分かる。これは総合病院と診療所の間に大きな違いは見られず、ほぼ同じ結果になった。

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。

個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も 30%弱と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。

行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

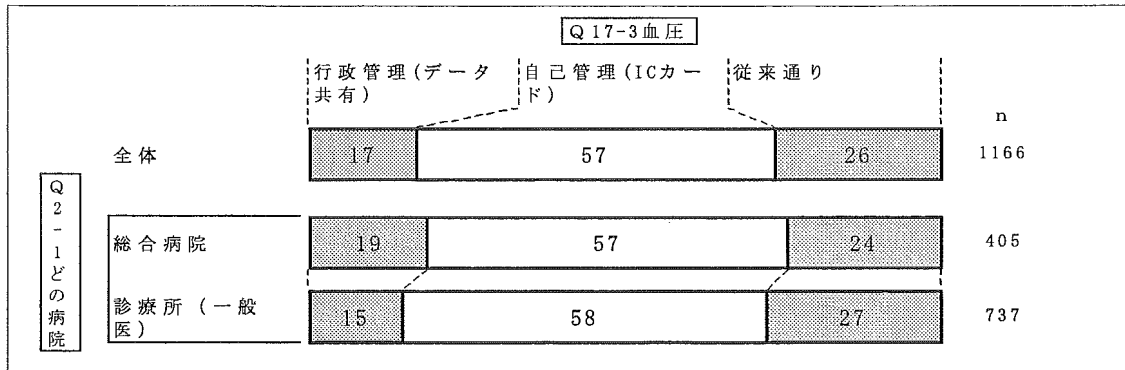
問 2-1 「病院タイプ」と問 17-3 「血圧の情報管理方法」のクロス集計分析

質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように血圧の情報を管理したいですか」

	合計	Q 17-3 血圧				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	168 16.6	577 57.1	265 26.2	156	
Q 2-1 どの病院	総合病院	405 100.0	66 19.0	197 56.8	84 24.2	58
	診療所 (一般医)	737 100.0	97 15.1	369 57.5	176 27.4	95



<考察>

全体の約 60%が自己管理を希望していることが分かる。患者は多少総合病院に比べて診療所の方が行政管理に不安を感じているものの、総合病院と診療所の間に大きな違いは見られず、ほぼ同じ結果になった。

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。

個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も 20%弱と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて行政管理を望む患者が少ないことから患者の情報漏洩への不安が大きいことがうかがえる。

行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

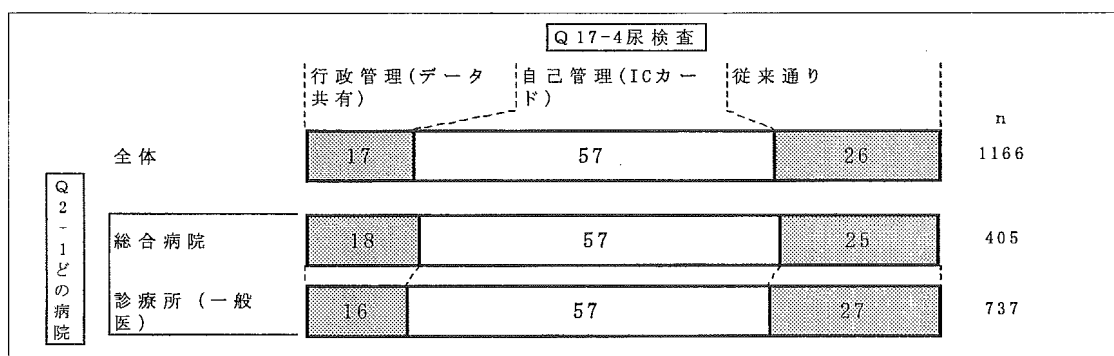
問 2-1 「病院タイプ」と問 17-4 「尿検査の情報管理方法」のクロス集計分析

質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように尿検査の情報を管理したいですか」

	合計	Q 17-4尿検査				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	174 17.3	573 56.9	260 25.8	159	
Q 2   1 どの 病院	総合病院	405 100.0	62 18.0	198 57.4	85 24.6	60
	診療所 (一般医)	737 100.0	105 16.4	366 57.1	170 26.5	96



<考察>

全体の約 60%が自己管理を希望している事が分かる.これは総合病院と診療所の間に大きな違いは見られず, ほぼ同じ結果になった.

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており, 自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる.

個人情報の管理にシビアな患者が多い一方, 行政管理というデータ共有を望んでいる患者も 20%弱と少なくない. これは個人の情報管理にはプライバシー保護, 情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが, 患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって, 検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担, 金銭的負担を解消できるなど, よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる. しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて行政管理を望むか患者が少ないことから患者の情報漏洩への不安が大きいことがうかがえる.

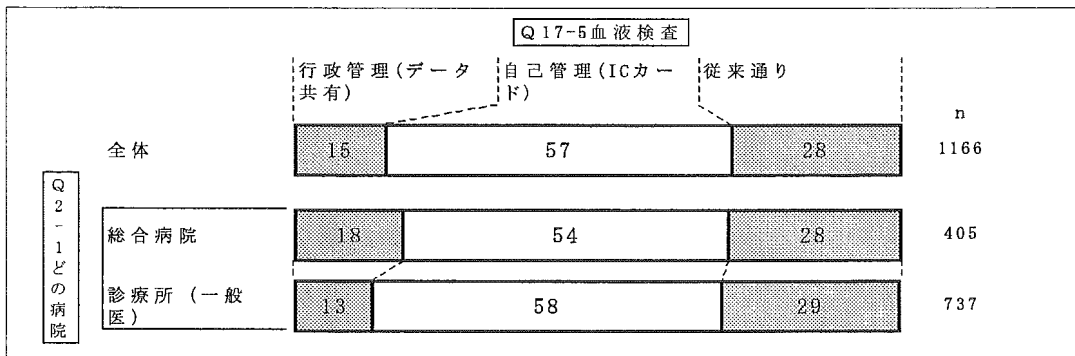
行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが, 現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である.

問 2-1 「病院タイプ」と問 17-5 「血液検査の情報管理方法」のクロス集計分析  
質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように血液検査の情報を管理したいですか」

	合計	Q 17-5 血液検査				
		行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	150 14.9	571 56.7	286 28.4	159	
Q 2   1 どの   病院	総合病院	405 100.0	63 18.2	187 54.0	96 27.7	59
	診療所 (一般医)	737 100.0	82 12.8	375 58.5	184 28.7	96



<考察>

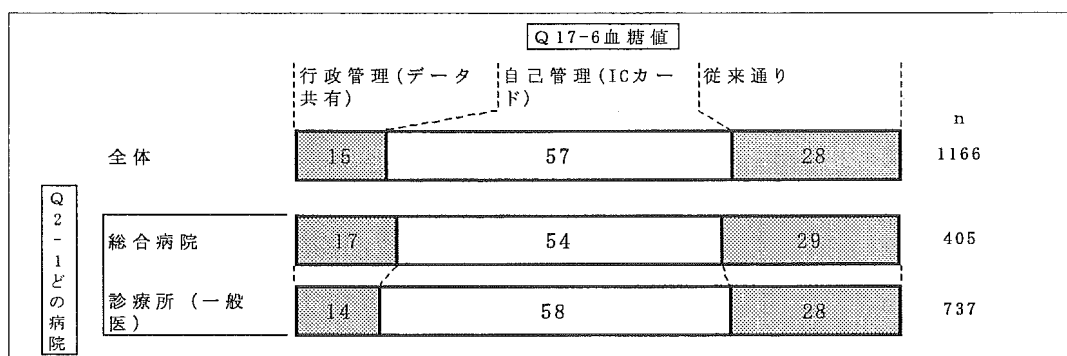
全体の約 60%が自己管理を希望していることが分かる。患者は多少総合病院に比べて診療所の方が行政管理への不安を感じている。これは総合病院の方が自己管理を希望している患者が多少少なく、診療所の方が行政管理を希望している患者が多少少ないことからもうかがえる。この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。個人情報管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も 20%弱と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担、金銭的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて行政管理を望むか患者が少ないことから患者の情報漏洩への不安が大きいことがうかがえる。行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

問 2-1「病院タイプ」と問 17-6「血圧の情報管理方法」のクロス集計分析  
 質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように血圧の情報を管理したいですか」

	合計	Q 17-6 血糖値				
		行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	153 15.2	569 56.4	287 28.4	157	
Q 2   1 どの 病院	総合病院	405 100.0	59 17.1	188 54.3	99 28.6	59
	診療所 (一般医)	737 100.0	88 13.7	372 57.9	182 28.3	95



<考察>

全体の約 60%が自己管理を希望していることが分かる。患者は多少総合病院に比べて診療所の方が行政管理への不安を感じている。これは総合病院の方が自己管理を希望している患者が多少少なく、診療所の方が行政管理を希望している患者が多少少ないことからもうかがえる。

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。

個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も 20%弱と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担、金銭的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて患者の情報漏洩への不安が大きいことが行政管理を望むか患者が少ないことからもうかがえる。

行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。



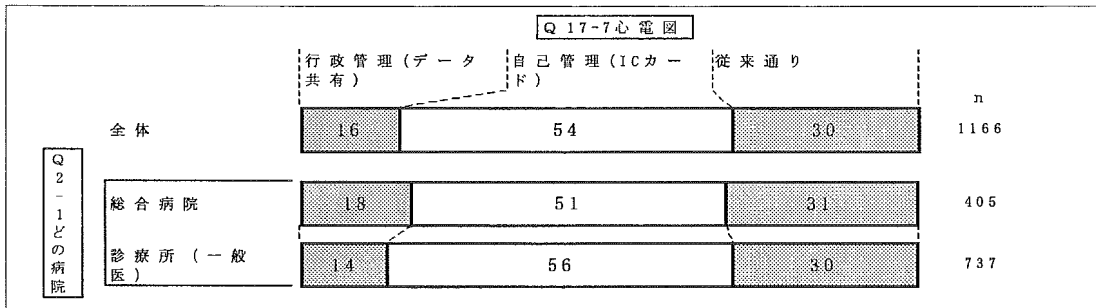
問 2-1 「病院タイプ」と問 17-7 「心電図の情報管理方法」のクロス集計分析

質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように心電図の情報を管理したいですか」

		合計	Q 17-7心電図			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166	158	544	305	159
		100.0	15.7	54.0	30.3	
Q 2-1 どの 病院	総合病院	405	64	176	106	59
		100.0	18.5	50.9	30.6	
	診療所(一般医)	737	88	358	194	97
		100.0	13.8	55.9	30.3	



<考察>

全体の約 55%が自己管理を希望していることが分かる。患者は多少総合病院に比べて診療所の方が行政管理への不安を感じている。これは総合病院の方が自己管理を希望している患者が多少少なく、診療所の方が行政管理を希望している患者が多少少ないことからもうかがえる。

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。

個人情報管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も 20%弱と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担、金銭的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて患者の情報漏洩への不安が大きいことが行政管理を望むか患者が少ないことからもうかがえる。

行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

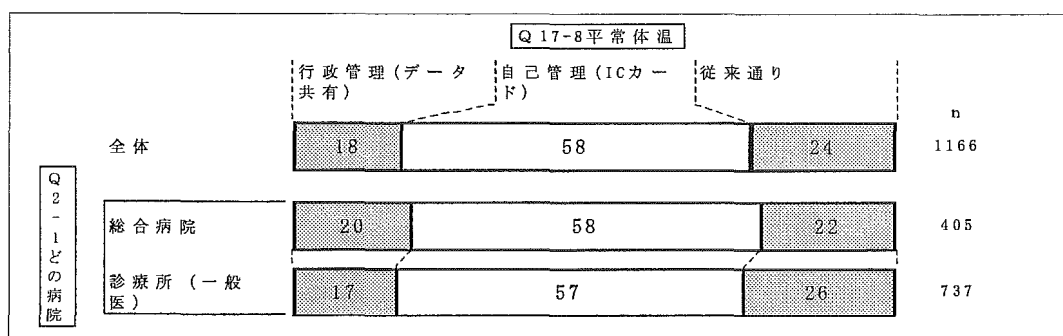
問 2-1 「病院タイプ」と問 17-8 「平常体温の情報管理方法」のクロス集計分析

質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように平常体温の情報を管理したいですか」

		合計	Q 17-8 平常体温			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166	183	580	246	157
		100.0	18.1	57.5	24.4	
Q 2   1 どの 病院	総合病院	405	68	202	76	59
		100.0	19.7	58.4	22.0	
1 どの 病院	診療所 (一般医)	737	109	368	165	95
		100.0	17.0	57.3	25.7	



<考察>

全体の約 60%が自己管理を希望していることが分かる。患者は多少総合病院に比べて診療所の方が行政管理への不安を感じているものの総合病院と診療所の方に大きな違いは見られず、ほぼ同じ結果になった。

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。

個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も 20%弱と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて患者の情報漏洩への不安が大きいことが行政管理を望むか患者が少ないことからもうかがえる。

行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

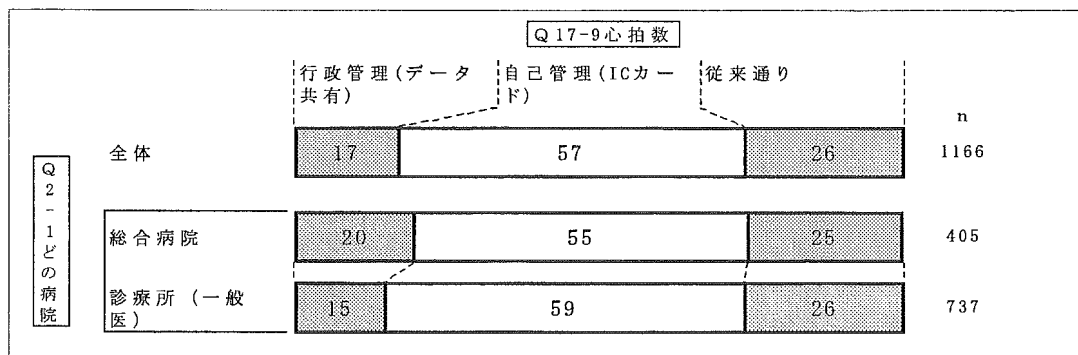
問 2-1「病院タイプ」と問 17-9「心拍数の情報管理方法」のクロス集計分析

質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように心拍数の情報を管理したいですか」

	合計	Q 17-9心拍数				
		行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	170 16.9	578 57.3	260 25.8	158	
Q 2   どの 1 病院	総合病院	405 100.0	68 19.7	191 55.4	86 24.9	60
	診療所（一般医）	737 100.0	96 15.0	379 59.0	167 26.0	95



<考察>

全体の約 60%が自己管理を希望していることが分かる。患者は多少総合病院に比べて診療所の方が行政管理への不安を感じている。これは総合病院の方が自己管理を希望している患者が多少少なく、診療所の方が行政管理を希望している患者が多少少ないことからもうかがえる。

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。

個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も 20%弱と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて患者の情報漏洩への不安が大きいことが行政管理を望むか患者が少ないことからもうかがえる。

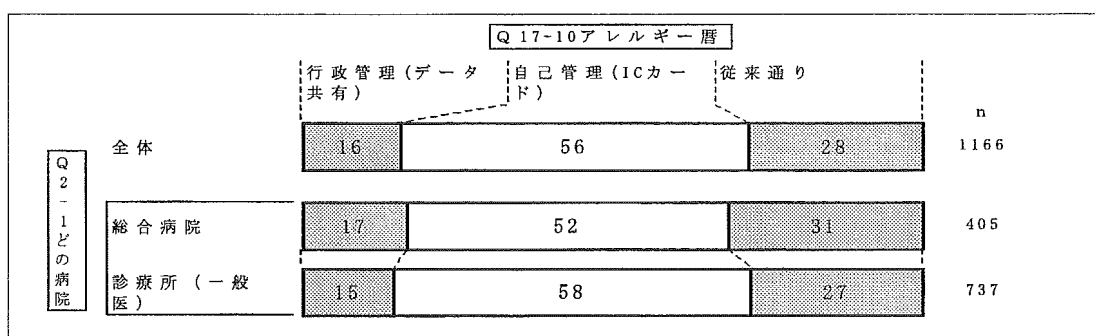
行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

問 2-1「病院タイプ」と問 17-10「アレルギー歴の情報管理方法」のクロス集計分析  
質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように問診表に書いたアレルギー歴の情報管理をしたいですか」

	合計	Q 17-10アレルギー歴				
		行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	157 15.6	568 56.5	281 27.9	160	
Q 2   どの   病院	総合病院	405 100.0	58 16.9	181 52.6	105 30.5	61
1	診療所（一般医）	737 100.0	94 14.7	374 58.3	173 27.0	96



<考察>

全体の約 55%が自己管理を希望していることが分かる。患者は多少総合病院に比べて診療所の方が行政管理への不安を感じている。これは総合病院の方が自己管理を希望している患者が多少少なく、診療所の方が行政管理を希望している患者が多少少ないことからもうかがえる。

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。

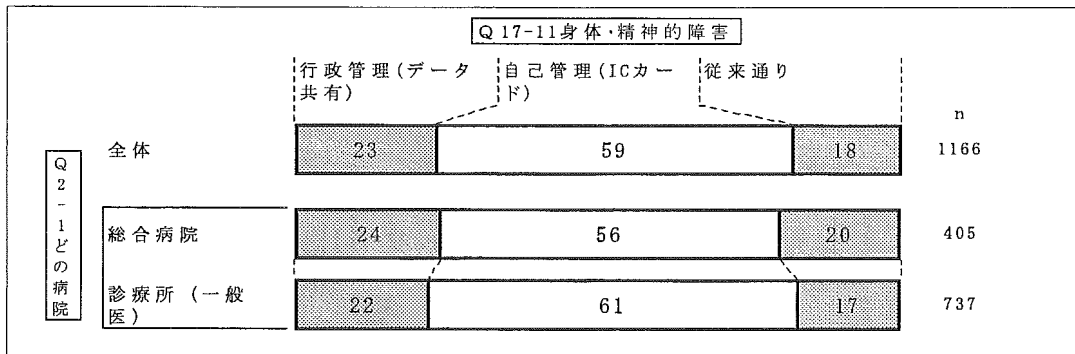
個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も 20%弱と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて患者の情報漏洩への不安が大きいことが行政管理を望むか患者が少ないことからもうかがえる。

行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

問 2-1「病院タイプ」と問 17-11「身体・精神的障害の情報管理方法」のクロス集計分析  
質問方法「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように問診表に書いた身体・精神的障害の情報を管理したいですか」

		合計	Q 17-11 身体・精神的障害			
			行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	232 23.1	592 58.8	182 18.1	160
Q 2   1 の 病 院	総合病院	405 100.0	84 24.4	190 55.2	70 20.3	61
	診療所（一般医）	737 100.0	143 22.3	388 60.5	110 17.2	96



#### <考察>

全体の約 60%が自己管理を希望していることが分かる。患者は多少総合病院に比べて診療所の方が行政管理への不安を感じている。これは総合病院の方が自己管理を希望している患者が多少少なく、診療所の方が行政管理を希望している患者が多少少ないことからもうかがえる。

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。

個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も約 25%と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて患者の情報漏洩への不安が大きいことが行政管理を望むか患者が少ないことからもうかがえる。

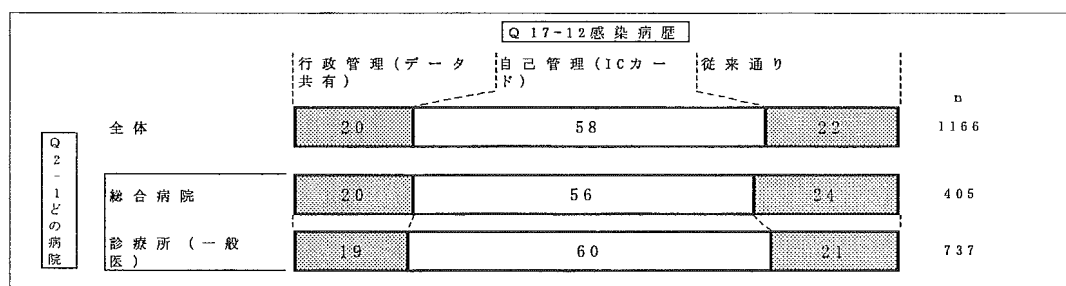
行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

問 2-1 「病院タイプ」と問 17-12 「感染症暦の情報管理方法」のクロス集計分析  
 質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように問診表に書いた感染症暦の情報管理をしたいですか」

	合計	Q 17-12 感染症歴				
		行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	196 19.5	588 58.6	220 21.9	162	
Q 2   1 どの 病院	総合病院	405 100.0	68 19.8	193 56.3	82 23.9	62
	診療所 (一般医)	737 100.0	124 19.4	381 59.5	135 21.1	97



<考察>

全体の約 60%が自己管理を希望していることが分かる。患者は多少総合病院に比べて診療所の方が行政管理への不安を感じている。これは総合病院の方が自己管理を希望している患者が多少少なく、診療所の方が行政管理を希望している患者が多少少ないことからもうかがえる。

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。

個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も約 20%と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて患者の情報漏洩への不安が大きいことが行政管理を望むか患者が少ないことからもうかがえる。

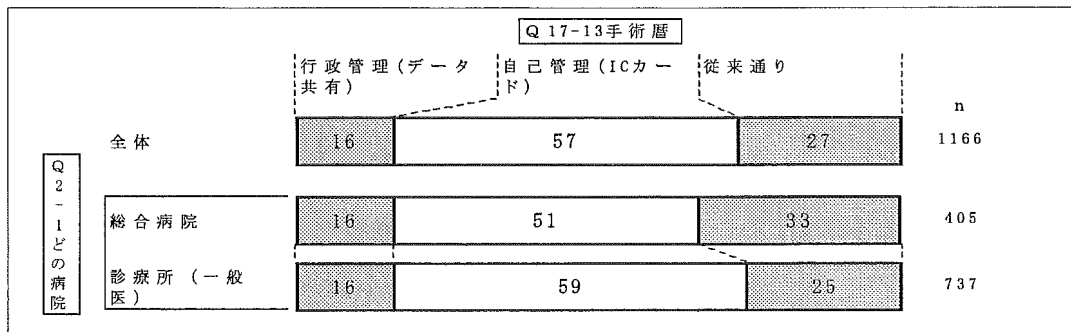
行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

問 2-1 「病院タイプ」と問 17-13 「手術暦の情報管理方法」のクロス集計分析  
 質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように問診表に書いた手術暦の情報管理をしたいですか」

	合計	Q 17-13手術暦				
		行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	165 16.4	568 56.4	274 27.2	159	
Q 2 1 1 どの 病院	総合病院	405 100.0	55 16.0	177 51.5	112 32.6	61
	診療所 (一般医)	737 100.0	105 16.4	379 59.0	158 24.6	95



考察>

全体の約 60%が自己管理を希望していることが分かる。患者は多少総合病院に比べて診療所の方が行政管理への不安を感じている。これは総合病院の方が自己管理を希望している患者が多少いことからもうかがえる。

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。

個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も 20%弱と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて患者の情報漏洩への不安が大きいことが行政管理を望むか患者が少ないことからもうかがえる。

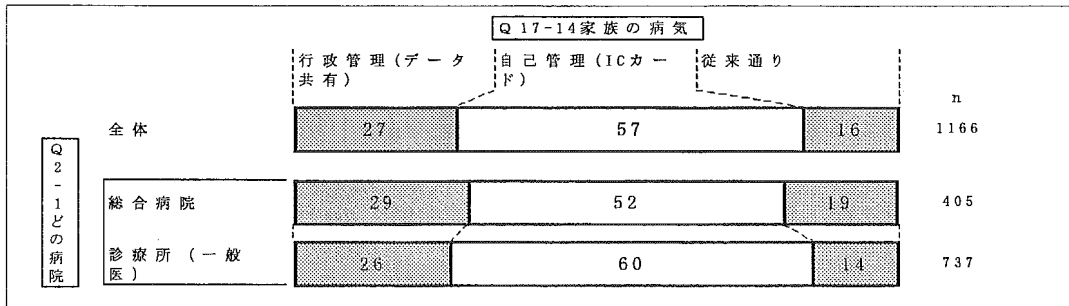
行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

問 2-1 「病院タイプ」と問 17-14 「家族の病気の情報管理方法」のクロス集計分析  
質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように問診表に書いた家族の病気の情報を管理したいですか」

	合計	Q 17-14 家族の病気				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	274 27.3	574 57.1	157 15.6	161	
Q 2   1 どの   病院	総合病院	405 100.0	99 28.8	179 52.0	66 19.2	61
	診療所 (一般医)	737 100.0	168 26.3	382 59.7	90 14.1	97



<考察>

全体の約 60%が自己管理を希望していることが分かる。患者は多少総合病院に比べて診療所の方が行政管理への不安を感じている。これは総合病院の方が自己管理を希望している患者が多少少なく、診療所の方が行政管理を希望している患者が多少少ないことからもうかがえる。

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。

個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も 30%弱と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて患者の情報漏洩への不安が大きいために行政管理を望むか患者が少ないことからもうかがえる。

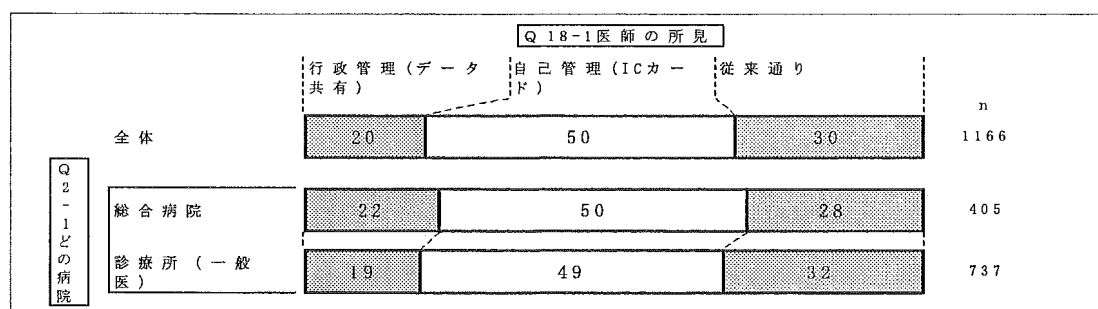
行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。



問 2-1「病院タイプ」と問 18-1「医師の所見の情報管理方法」のクロス集計分析  
質問方法「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように医師の所見の情報管理をしたいですか」

		合計	Q 18-1 医師の所見			
			行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	232 20.3	563 49.3	347 30.4	24
Q 2   1 の 病 院	総合病院	405 100.0	87 21.9	198 49.7	113 28.4	7
	診療所（一般医）	737 100.0	140 19.4	354 49.0	228 31.6	15



#### <考察>

全体の約 50%が自己管理を希望していることが分かる。患者は多少総合病院に比べて診療所の方が行政管理への不安を感じている。これは診療所の方が行政管理を希望している患者が多少少ないことからもうかがえる。

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。

個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も約 20%と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて患者の情報漏洩への不安が大きいことが行政管理を望むか患者が少ないことからもうかがえる。また、自分の身体情報の管理方法に比べ、従来通りと答える患者が多かった。これは、医師の所見の情報については情報を共有することによってサービスの向上があまり望めないと感じているからだと思う。

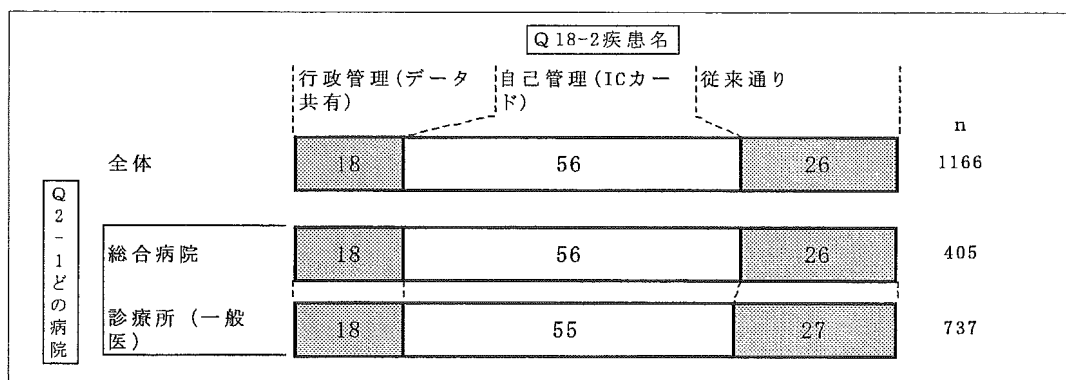
行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

問 2-1 「病院タイプ」と問 18-2 「疾患名の情報管理方法」のクロス集計分析  
 質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように疾患名の情報管理をしたいですか」

		合計	Q 18-2 疾患名			
			行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明
全体		1166 100.0	209 18.4	629 55.3	299 26.3	29
Q 2   1 の 病 院	総合病院	405 100.0	71 18.0	220 55.7	104 26.3	10
	診療所（一般医）	737 100.0	132 18.3	397 55.1	191 26.5	17



<考察>

全体の約 55%が自己管理を希望していることが分かる。また、総合病院と診療所の間には大きな違いは見られず、ほぼ同じ結果が得られた。

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。

個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も約 20%と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて患者の情報漏洩への不安が大きいことが行政管理を望むか患者が少ないことからもうかがえる。

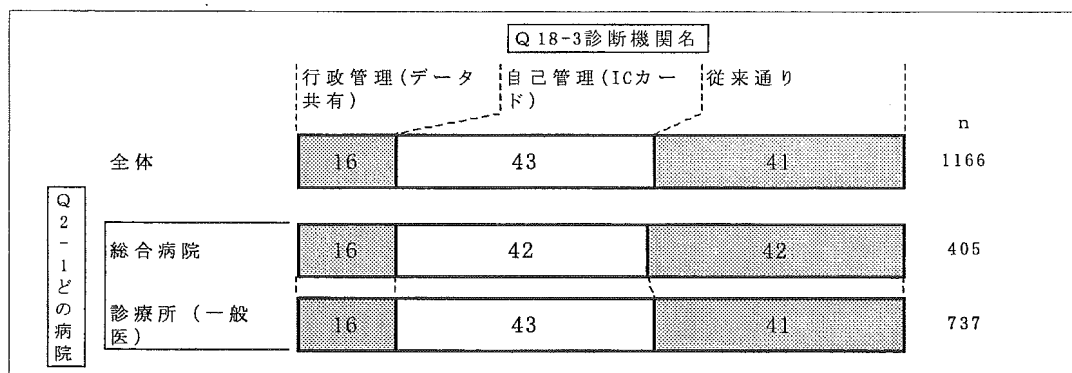
行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

問 2-1「病院タイプ」と問 18-3「診断機関名の情報管理方法」のクロス集計分析  
質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように診断機関の情報を管理したいですか」

	合計	Q 18-3 診断機関名				
		行政管理 (データ 共有)	自己管理 (ICカー ド)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	184 16.1	486 42.5	473 41.4	23	
Q 2-1 の 病 院	総合病院	405 100.0	63 15.8	169 42.4	167 41.9	6
	診療所（一般医）	737 100.0	115 15.9	309 42.8	298 41.3	15



<考察>

全体の約 50%が自己管理を希望していることが分かる。また、総合病院と診療所の間には大きな違いは見られず、ほぼ同じ結果が得られた。

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。

個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も約 20%と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし、自分の身体情報の管理方法に比べ、従来通りと答える患者が多かった。これは、診断機関名の情報については情報を共有することによってサービスの向上があまり望めないと感じているからだと思われる。

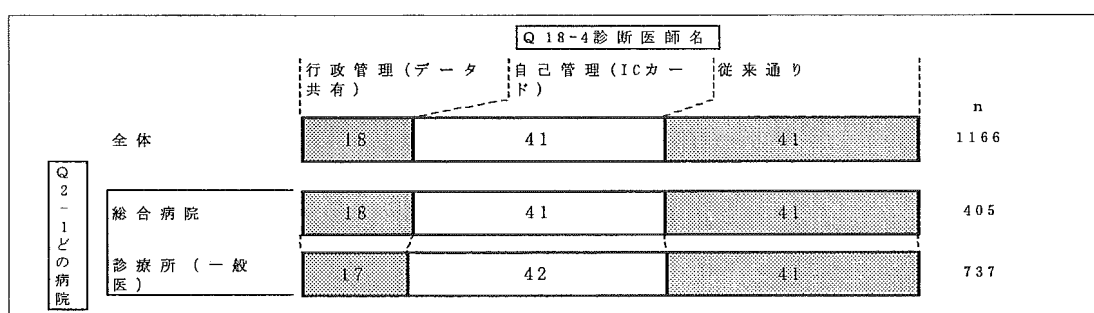
行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。

問 2-1「病院タイプ」と問 18-4「診断医師名の情報管理方法」のクロス集計分析  
質問方法

「あなたのいかれた病院はどのような病院ですか」

「どのように診断医師名の情報を管理したいですか」

	合計	Q 18-4 診断医師名				
		行政管理 (データ共有)	自己管理 (ICカード)	従来通り	不明	
全体	1166 100.0	204 17.9	467 41.0	469 41.1	26	
Q 2-1 どの病院	総合病院	405 100.0	70 17.6	162 40.8	165 41.6	8
	診療所（一般医）	737 100.0	126 17.5	300 41.6	295 40.9	16



<考察>

全体の約 40%が自己管理を希望していることが分かる。また、総合病院と診療所の間に大きな違いは見られず、ほぼ同じ結果が得られた。

この結果から過半数以上の患者は行政で患者の情報を管理して共有することにより情報の漏洩などに不安を感じており、自己管理における紛失などのリスクもあるが自己管理を望んでいることが分かる。

個人情報の管理にシビアな患者が多い一方、行政管理というデータ共有を望んでいる患者も約 20%と少なくない。これは個人の情報管理にはプライバシー保護、情報漏洩の阻止など細心の注意が重要であることは言うまでもないが、患者の情報を医療機関同士で共有して連携することによって、検査の重複などによる患者への精神的負担や肉体的負担を解消できるなど、よりよいサービスが期待できるためそこに魅力を感じているからであると考えられる。しかし個人の健康状態の情報であるため身長や体重に比べて患者の情報漏洩への不安が大きいことが行政管理を望むか患者が少ないことからもうかがえる。また、自分の身体情報の管理方法に比べ、従来通りと答える患者が多かった。これは、診断医師名の情報については情報を共有することによってサービスの向上があまり望めないと感じているからだと思われる。

行政管理が普及すれば便利であることは間違いないが、現段階ではまだまだ行政における患者の個人情報管理に信用を得られていないのが現状である。